

### もの忘れ外来

1. 概要 : 認知症の早期診断、早期治療
2. 扱っている主な疾患 : アルツハイマー型認知症、血管性認知症、その他の認知症
3. 検査内容 : 認知機能検査、頭部 MRI 検査、血液検査等
4. 診察申込 : 電話予約制 電話番号 098-982-1777 (代表)
5. 専門治療の詳細 : 現在、我が国における認知症の人は約 462 万人と推定され、団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年には 700 万人に達するであろうと推測されております。これは実に、65 歳以上の老年者の 5 人のうち 1 人が認知症ということになります。さらにその前段階（軽度認知障害：MCI）の人もほぼ同数と考えられおり、今後急速な高齢化の進展に伴い、認知症高齢者が急増していくものと思われれます。このような状況の中 当院では、もの忘れ外来を開設しており、現在では、日本認知症学会認定の認知症専門医でもある脳神経内科専門医、脳神経外科専門医、精神科専門医（非常勤）が協力し、認知機能検査や頭部 MRI 検査などを駆使し、もの忘れ外来で認知症の診断・治療を実施しております。老化による“もの忘れ”と認知症を早期に鑑別、診断して認知症薬による早期治療を行います。また認知症に伴う不眠、徘徊などの精神・行動面の症状は薬物療法によって改善できます。さらに日常生活での対応や介護を工夫することによっても症状は和らぎ、ご家族の心理的な負担を軽減することができます。

以下のような点に気づいたら、もの忘れ外来を受診することをお勧めします。

1. ものの名前が出てこない、同じことを何度も言ったり、聞いたりする、置き忘れやしまい忘れが目立つ、蛇口の締め忘れ、鍋を焦がす等の記憶障害
2. 時間や場所の感覚・記憶が不確かになった見当識障害
3. 趣味に関心がなくなる、理解力が低下し、計算ができなくなる、計画がたてられなくなる等の意欲、思考・判断力の低下
4. 怒りっぽくなった、お金や物を盗まれたと言う、実家へ帰ると言う帰宅願望、夜になると騒ぐ、幻覚、妄想、徘徊などの行動異常。
5. 言葉が出ない、話せなくなっている。

当院では MRI による“脳萎縮の部位診断”を簡便かつ正確に行うため開発された検査を実施しております。

**A** MRIを用いて海馬傍回付近における  
脳の萎縮の度合いを検査するものです。

\* 海馬傍回とは、記憶の形成・保持・再生をつかさどる領域です。  
非常に小さな領域で、海馬の周辺に位置しています。



健常老年者

アルツハイマー型認知症

